

5. Soya村の手堀浅井戸跡の整備(ケニア)

- 実施団体: Ufanisi Support Group (USG) (#188)
- 実施地: ケニア ブンゴマカウンティ ブンゴマセントラル県 カブチャイ郡 キシワB区
ソヤ共同体 ソヤ村
- プロジェクト費用: 1,840ドル(JWFファンド1,500ドル、受益者340ドル)
 予算: 1,710ドル(JWFファンド1,500ドル、受益者210ドル)
- 受益者数: 750人(男性125人、女性125人、子ども500人)
- 実施地の水問題:

ソヤ村の125世帯にとって、水問題は生存を脅かす深刻な障害だった。村に唯一存在した水源は手掘り井戸で、各世帯から25メートル~1.5キロメートルの場所にあった。ところが側壁が不十分で崩れ、放棄された。村の世帯はすべて、3.5キロメートル離れた隣村のすくい取り用の穴(scoop hole)に頼らざるを得なかった。そこには、雨水の滞留水しかなく汚染の恐れが高く毎年村人の85%が水系感染症にかかっていた。

【実施前】



隣村のすくい取り穴での水汲み



放棄された手掘り井戸の状況



あるソヤ村人と家、受益者候補

- 主な活動内容: 井戸堆積物除去、帯水層まで7メートル追加掘削。計画変更により側壁はカルバートからレンガ防護・常設手動ポンプから電動水中ポンプにより非常時バケツ取水を可能とした。水受け設置、水質検査、WASH啓発活動の実施、水利用者委員会の結成。
- 特長(持続性): 15名の女性メンバーで構成される水利用者委員会による運用や修理・保守管理、直接受益者から年間10米ドルの負担金徴収と会計処理、WASH(飲料水・衛生・衛生習慣)啓発セッションの実施。
- 実施団体: ケニア西部Kisiwa B区で活動する、政府登録非営利団体。農村部貧困層に対し、保健・水と衛生・経済的エンパワーメント・教育支援活動を通じて、健康障害・極度の貧困・非識字問題からの救済と保護を行う。JWFファンド2021実績あり。

5. Soya村の手堀浅井戸跡の整備(ケニア)

【実施中】



追加掘削後の井戸



側壁のレンガ防護



水受け施工



水受け仕上げ



水受け完成



水中ポンプ納品



水中ポンプ組立



水中ポンプ設置



Ms. Celestine Waswa
(44歳)

私はシングルマザーです。くすり取り穴への水汲みに行く時間の為に、マットづくりの仕事に辞めざるを得ませんでした。5人の子供たちは汚染された水で、誰か一人は下痢をしていました。井戸ができたおかげでマットづくりに復職して収入が戻り、子供たちは誰も下痢に苦しんでいません。日本水フォーラムに心から感謝します。



Ms. Joy Welemba
(32歳)

私は生活のために石鹼づくりをして、夫と別れてからは一人で4人の子供を育てています。以前は遠くの穴まで材料の水汲みに歩いたので、時間と疲れもありました。日本水フォーラムの資金支援で改修した井戸の新鮮な水は、安全で信頼できる水へのアクセスとなりました。おかげで毎日十分な量の石鹼を作って販売できるようになり、収入と生活が改善されました。

【実施後】



完成した井戸からの給水



井戸の水を喜ぶ住民



WASH啓発活動



Mr. James Watoya
(43歳)

共同体保健担当者として、隣村の安全でない穴の水を飲むことによって水系感染症が非常に多いことに憂慮していました。苦勞して稼いだ収入も医療に費やされ、貧困が悪化していました。日本水フォーラムの資金により村の井戸が改修されてからは、状況は改善され村人は安全な水を飲めるようになり水系感染症の発生は劇的に減少しました。